

- (1) 働く事のよろこび
- (2) なんでも電話相談  
●九建アスベスト  
●第2陣訴訟
- (3) 今が旬
- (4) 山崎拓参院議員  
トークセッション

# SOLIDARITE 「連帯」 ソリダリテ

建交労大牟田支部通信 (No. 59)



## 成果をやりがいを感じられる仕事を提供したい

5月24日、小雨降る中、組合員宅からご自宅塀の洗浄依頼を受けて作業を行いました。ご依頼を受けた時には、塀の表面の状態について、普通に塀だろうと特に疑問はなかったのですが、いざ本番、高圧洗浄機を用い、圧縮された水道水を放つと、ガソリンスタンドの手持ち式洗車機材よりも高圧になった。長靴や雨がっぱ

企業組合 大牟田市雇用福祉事業団の役割明確に

等雨具を個々で準備し、高圧洗浄機の設置を行ない作業開始。塀に高圧水をぶつける、と、あれよあれよと塀表面に堆積していた物が洗い流されていきます。写真の通り、塀の地下が現れ、これぞ一劇的レゾナー「アフター」です。作業しているはなからこんな成果が現れるので、これはやりがいがあります。全日自労時代からの事業活動は、このように成果をその目に見て、今日よりも明日というようになやりがいに満ち溢れる仕事だったのだと思うと、凄じ組合に入ったもんだと感激もひとしお。

建交労の専従職は、頑張った分の成果が出るかどうかとも時間がかかるし、頑張ってもその対価分の成果が出る保証は一切ない。この事業団が目指す、「失業

と貧乏と競争に反対」とは、生活困窮者や失業者、引きこもり等の方々に大きな喜びを与えるものだと確信しました。そして、やりがいがある産まれれば、仕事の質も向上する。

違つて、現代日本の資本主義に取って代わるこれこそ「真の働き方改革」になるものだと確信しました。早く事業団を立ち上げて、この働く喜びをたくさんの人たちに味わって欲しいと、ワクワクドキドキです。

と貧乏と競争に反対」とは、生活困窮者や失業者、引きこもり等の方々に大きな喜びを与えるものだと確信しました。そして、やりがいがある産まれれば、仕事の質も向上する。



私たちが大人とされる者の、「物の見方考え方」を今一度振り返ってみる必要があるように思える。そう考えると、これからの未来社会を若者たちに託せるよう、私たちの世直し運動が不可欠に思う…

しかし、「今どきの若者」とはほんの一部に過ぎないのではないかと思う。昨年の「令和2年7月豪雨災害」で被災者宅の片付けや泥だしなどのボランティア活動に我先にと参加したが、三池工業高校の生徒たち。心ある若者は私たちの身近にいる。

間一髪の出来事でしたが、そのお年寄りを救出した生徒らは、「お年寄りを踏切外へ出した後、足ががくがく震えた」との事。私たちは、「今どきの若もんは」というくくりで見ている。

**じかたび**  
編集長の母校である、県立三池工業高校の生徒たち。  
大牟田市内の踏切で身動きが取れずうおさおしているお年寄りを発見。既に遮断機が降りていて、列車が迫ってくる中で、彼らは力づくでお年寄りを踏切の外へ出した。

【医療・介護・生活】

なんでも電話相談会開催!!

5月26日の2日間、「医療・介護・生活」なんでも電話相談会が開催されました。私たちは建交労は労働相談担当として配置されました。ハローワーク前での相談会の事前宣伝では、民間分会の高橋さんが自らチラシ配りと対話をかって出してくれました。

本番当日、6件の相談が寄せられ、労働というより①「年金生活で医療を受けながら、この先預貯金を使い果たしどうやって暮らしていけばよいか」②「昨年の緊急事態宣言時に社協で緊急小口資金などを活用したが、未だ就職の目途が立たず、再借入れを断られ、再就職までどうやって生活して

いけばいいのかわからないのか」等々の相談が寄せられました。又、相談会の期日前にも建交労の組合員の前にも「生活保護のついでで、「生活保護だが、地主から更地にして売却するため、立ち退きを要求された」などの相談も寄せられていた。

昨年からのコロナ緊急事態宣言や令和2年7月豪雨災害での相談を受けた経験がここで発揮できると思ってもみませんでした。

殆どの相談案件は継続して取り組めますが、何せ自治体窓口は、市民個人に対して冷たいのが現状。相談を受けたからには、市役所であれ社協であれ、相談者と一緒に赴き、生活苦の事実と法的な物事の道理で、これらの人々の要求を叶えたいと思います。

コロナ禍で始まる以前からの潜在的な不安定雇用労働や低年金者、生活困窮者の暮らしを応援する事で、市民の駆け込み寺になりたいと思います。



崎市議と生活保護の扶助額試算しながら相談を受ける

建設アスベスト訴訟最高裁判決直後

九州建設アスベスト訴訟第2陣

5月17日の最高裁判決が出され厚労大臣が謝罪。その3日後、福岡地裁で第10回期日が執り行われた。梅雨入りしたと見られ豪雨の中でした。

この福岡県にも緊急事態宣言が発出され、県をまたぐ移動の制限があった。

傍聴者は法廷には入れず、最高裁判決の振り返りを弁護士会

館大ホールで行なった。今回の意見陳述は、遺族原告と山本弁護士長の2本。



遺族原告の陳述内容は、内装工として働かれ、60歳台前半で中皮腫を患い、その苦しみを少しでも軽減するためモルヒネを使うことも...

負けん気の強いご主人は、病状の進行と症状特有の苦しみに、「おれ死ぬとかな」「死にたい、死のごた」と何とも言い表せない苦痛から早く解放されたいようでした。最期にはモルヒネは効かず、延命治療はせず、そのまま帰らぬ人となりました。ご遺族は夫の無念を知ってほしい。とくくられました。

この九州建設アスベスト訴訟を約10年前から闘ってきた、弁護士事務局長の田中弁護士と福建労大牟田支部の矢野書記次長の発言は、やっと最高

裁判決が出たが、この間の長い闘いの中で無念の死をとげた仲間たちの事で感極まる場面があった。



緊急事態宣言中で他県の建交労の仲間たちは来られず、建交労として発言を求められ、「石綿の犠牲」「中皮腫」について担当している被災者の事を語りました。

この期日と集会が終わった頃、私たちの仲間が「悪性胸膜中皮腫」で息を引き取った。「何もしてやれんかった」とただただ悔やんだ。その翌日と翌々日にその仲間を見送り、心に固く誓った。「企業の加害責任を追究し仇を討つまで泣かない」と。



# 今が旬の接種コーナー

## 新型コロナワクチン接種侮るなかれ!

先週（5月末）  
第1回目のワクチン接種を受けた。

その前に接種を終えた人達からは「全然痛くなかったよ」「副作用なんかまれよ!」なんて周りの人達からは聞いていた。

主人なんて4月に2回目のワクチンを済ませ平気な顔で「どげんなかけん、ワクチンはききよつとやろか」なんて言っていた。

はじめは不安だった私は「そうなんだ、ワクチンなんて簡単なんだ」と軽い気持ちで接種会場に向かった。「ちよつと、ちかつとしますよ」と言っ



日経ビジネスより

れた。「痛っ!」一瞬で終わった。20分の待機。どうもなかった。私は安堵し2回目の接種予約を済ませ、夕飯の買い物から「こわるけん、腕をなるべく動かしよかんなんよ」と言われていたのでぐるぐる動かしていた。そしてその日は副作用もなく安心して就寝。

しかし、悪夢は次の日に襲ってきた。朝起きる時、身体全ての筋肉が動かない。腕を上げようにも注射の跡がひどく痛み、足の付け根が痛い。肩、背中、腰、足のふくらはぎ、腕すべてが痛い。なんだこれ!

よくよく考えるとこれってワクチンの副作用では? 主人曰く「そげな副作用って聞いたことがない。周りにもそげな人はおらん!」しかしワクチンを接種するまでどうもなかったのに急にこうなるなんて副作用の他考えられない。副作用は人それぞれ違った症状が出ると思う。説明書にも副作用はいろいろ出ると明記してある。恐れていたことが起こった。

か痛みと格闘し一日が過ぎた。次の日、朝起きてみると昨日の痛みとの戦いが嘘のように治まっていた。注射の跡が少し痛むが、足腰の痛みが完全ではないがいくらか和らいでいた。

そして3日目「あれっ? うそ! まったく痛くない。」やっぱりワクチンの副作用だったんだと確信した。そこで皆さんに一言。コロナワクチン接種侮るなかれ。人間人ぞれぞれ副作用の出方は違うのです。私の場合は特別かも。皆さんは安心してワクチン接種は必ず受けて下さ



newsweekより

いね。私のような症状はまれだと思えます。しかし、こう言う症状も出るという事だけは頭の隅に置いておいてくださいね。私のコロナワクチン接種の体験談でした。「2回目が怖い!!!」  
(猿渡)

5月29日、全国の建交労日本共産党後援会企画で、日本共産党の山添拓参議院議員と語るオンラインの集いに、大牟田支部は7名の参加でした。

若い議員なのに、国会論戦では鋭い迫りがあり、山添議員と、ZOOMを使ったオンライン企画に参加しました。

普段目にするのは、YouTubeで一方的なやり取りで



## 山添拓参議院議員と語る オンラインの集い

と、今菅自公の政権が目指すものを明快に語られ、私たちがすぐそこまで迫っている総選挙に向けての心構えとヤル気がみなぎってきた。

双方向のやり取りができていて、参加の申し込みに「大牟田市保

し、かありませぬが、この取組は、双方で語らう事ができ、1時間45分に及ぶ中身の濃い山添議員との追及



健所奪還に向けて、という事で事前に、法的なくくりがあるのか、実行する為の方策など等を質問していました。

さすが弁護士であっただけに法律にも運動論でも長けている回答でした。私たちは、回答と大牟田市の現状を踏まえ、大牟田市保健所の奪還を目指し奮闘していきます。

### <行事予定>

#### 6月

- 4日(金) 10:00～労職分会定例会(緊急事態宣言中で中止)
- 5日(土) 全労連非正規労働WEBセミナー
- 6日(日) //
- 7日(月) 13:00～公共一般分会定例会(緊急事態宣言中で中止)
- 10日(金) 9:30～火力発電所建設アスベスト弁護団会議(ZOOM)
- 15日(火) 14:00～大牟田社保協幹事会  
16:00～大牟田地区労連幹事会
- 16日(水) 16:00～県労連事務局長会議(ZOOM)
- 17日(木) 9:00～支部執行委員会
- 26日(土) 12:00～持っていかんね市
- 29日(火) 10:30～県本部執行委員会

#### 7月

- 2日(金) 10:00～労職分会定例会
- 4日(月) 16:00～民間分会定例会
- 5日(月) 13:00～公共一般分会定例会
- 11日(日) 13:00～なくせじん肺キャラバン  
実行委員会(ZOOM)

#### 健康相談 (5月末時点)

- ・石綿健康管理手帳…4名
- ・じん肺管理区分4…1名
- ・じん肺管理区分2…2名
- ・じん肺合併症決定…2名
- ・合併症申請予定…3名
- ・遺族補償決定…2名
- ・CO患者遺族補償審査請求…1名
- ・石綿遺族補償準備…1名
- ・石綿健康管理手帳申請…1名
- ・騒音性難聴検査中…1名